

NPO法人

姫路コンベンションサポート 

令和4年度事業報告書



2022事業報告書

2022決算書

2023事業計画書

2023予算書

20th Anniversary

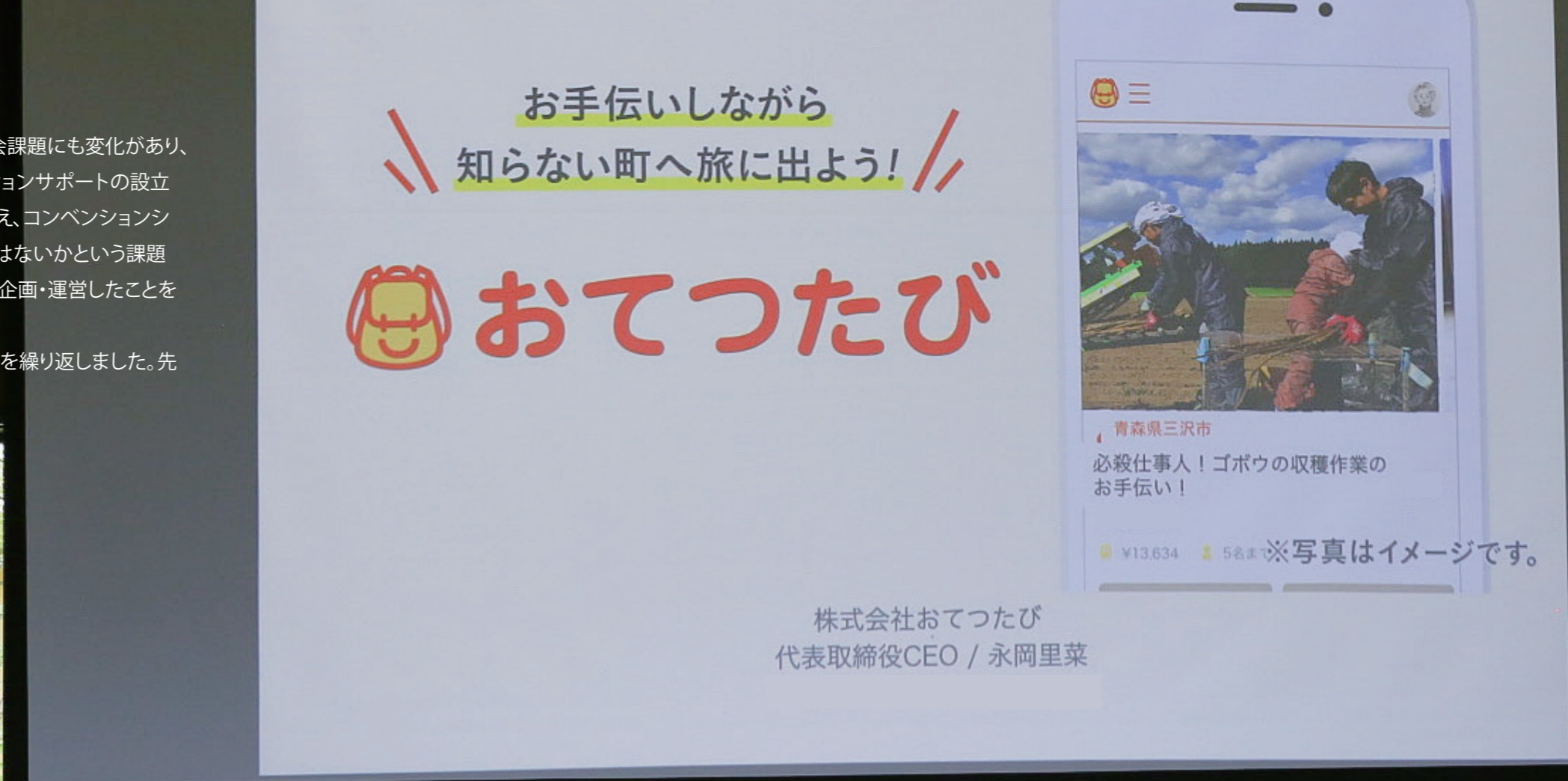


Non Profit Organization
Himeji Convention Support
Since 2002

なんやかんやで20年

2002年7月8日に設立してから、20年が経ちました。社会情勢の変化とともに社会課題にも変化があり、その都度、市民に向きあいながら課題解決に取り組んできました。姫路コンベンションサポートの設立の経緯は、当時、姫路市が「コンベンション」(=大会・会議の意味)を産業の1つと捉え、コンベンションシティを目指し、他都市の方を迎える「ウェルカムな心」を育てるまちづくりが必要ではないかという課題が生まれたことにありました。2000年にボランティア団体「ひめじ良さ恋まつり」を企画・運営したことをきっかけに、イベント開催の支援や青少年の育成などにも取り組んできました。

20年間の事業は失敗の連続でしたがその都度、スタッフや協力企業と試行錯誤を繰り返しました。先の20年もまちを元気にするサポートに全力で取り組みたいと思います。



たまちゃん街の駅



英語ボランティアガイド養成講座



ひめじ良さ恋まつり



銀の馬車道劇団



お夏清十郎節全国大会



大道芸フェスティバル

法人設立20周年記念事業 「未来を変える! 私の働き方改革」フォーラムの実施

設立当初の原点に戻ろうと、20周年記念事業は「未来を変える! 私の働き方改革」と題し、フォーラムを開催しました。講師に株式会社おてつたびの永岡里菜さんを迎え、旅をしながら仕事をするマッチングサイト運営について、永岡さんご自身の起業と、働き方の現状について講演いただきました。第2部では、自ら働き方を見つけ改革した3名の女性たちとともにトークセッションを実施。参加者約120名の方々と大名刺交換会も実施しました。

日時 2022年7月10日(日) 13時から16時半
場所 アクリエひめじ 参加者 120名
登壇者 (株)おてつたび 代表取締役CEO 永岡里菜さん
(株)はなうたデザイン 有馬亜紀さん
Marriage salon プリムラ 佐々木なつみさん



令和4年度(第21期)事業報告書

2022年から事業の拡大により、定款の大幅変更を行いました。従来の「観光振興・まちづくりのための事業」の他に、起業支援や職業紹介など、就労に関することが加わりました。

報告書の読み方

NPO法人はNPO法に基づく定款に則って事業をしています。請負の「委託事業」とその利益を使って社会課題解決をする「自主事業」の2つがあり、この報告書では事業名のあとに(委)=委託事業、(自)=自主事業で表示しています。

2022年5月改定の事業内容

- (1) 観光振興、まちづくりのためのコンベンション開催・開催支援事業
- (2) 観光振興、まちづくりのための人材養成事業
- (3) 観光振興、まちづくりのための情報提供事業
- (4) 観光振興、まちづくりのための調査研究・政策提言事業
- (5) 観光振興、まちづくりのための普及啓発事業
- (6) 職業紹介事業
- (7) 就労支援事業
- (8) 労働者派遣事業
- (9) 公共施設の運営、指定管理者業務に関する事業
- (10) 起業支援、事業承継マッチング支援事業
- (11) 広告および宣伝に関する事業
- (12) 会報及び出版物の発行事業

01 コンベンションの開催支援事業

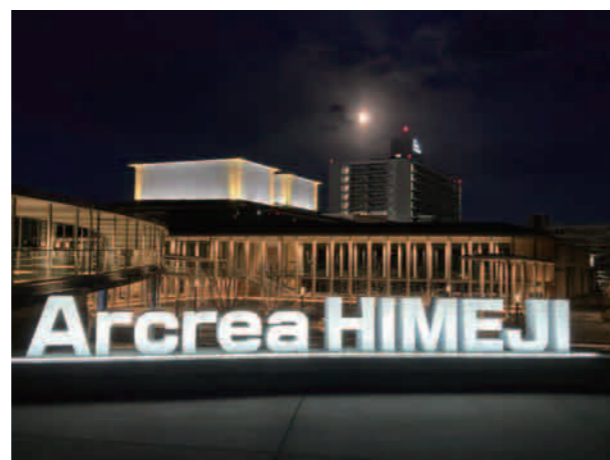
(1) 姫路港ふれあいフェスティバルの開催 委

10月23日(日) 飾磨津臨港公園

(2) 国際女性フェスタひめじ実行委員会事務局 委

今年度は特にイベントを開催せず、啓発活動のみ実施しました。

- ・大手前通りタペストリー掲出 / 2023年2月27日～3月9日
- ・アクリエひめじのライトアップ / 2023年3月1日～3月8日



02 人材育成事業

(1) 女子高校生サミット 自 新規

男性と女性が対等な立場で輝きあえる社会を実現するため、高校生の視点で問題提起し、考えるイベントを実施しました。参加高校生たちとともに実行委員会を結成、イベント実施に向けてワークショップを行いました。

私たちは、高校生へのアドバイスと現地調整などサポート役に徹し、参加者、特に女子高校生が日ごろから感じている「ジェンダーバイアス」についての考えやアイデアの引き出しを行いました。

国際女性デーの3月8日に合わせ、3月12日(日)には「女子高校生SDGsサミット2023 in HIMEJI～誰もが主人公になれる世の中へ～」を



女子高校生SDGsサミット2023 in HIMEJI

アクリエひめじで開催。学生26名のほか、一般人も17名が参加し、約3時間にわたってグループディスカッションを行いました。

コラム

ジェンダーバイアス

ジェンダーバイアスとは、男女の役割について無意識のうちに固定的な観念を持つことがあります。「男性は青・女性は赤」など色のバイアスから、「男は外で稼ぎ、女性は家事をする」など役割のバイアスなど、様々なことがあります。

問題なのは、このバイアスによって個人の可能性や成長が失われること、またそれらがサラリー(対価)に影響してしまうことです。また「無意識」であるということも課題となっていて、これらを解決するためには若い世代の教育です。

今回の高校生サミットは、女子高校生が「私たちの『女子校』の当たり前は、大学に進むとそうでないかもしれない」という疑問から生まれました。フォーラム当日は男子高校生もおとなも参加し、課題が共有できたということです。

「これが当たり前」と感じず、日々疑問を持ち問題提起できる若者が増えるよう、私たちおとなも感度を高くしなければなりません。

(2) 体験型観光の実施 自 新規

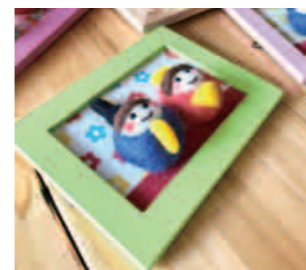
コロナ禍で旅行客の行き来がストップした今がチャンス。アフターコロナに備えて、旅行客の体験観光、特に日本人をターゲットにしたメニュー開発を試験的に行いました。

1か月に1回程度の実施で、山登り、サイクリング、手芸など、様々な分野のものに取り組んでみました。人気メニューはアウトドア。子どもから大人まで幅広い世代の人に参加していただくことができました。

これらは今後改良を重ねて、市民センターの自主講座にしたり、外国人観光客対応のものにしたりと取り組みたいと考えています。



段が峰トレッキング・利神城山城登山



羊毛フェルトでつくるおひなさま

月	メニュー
4月	鶉野サイクリング
5月	段が峰トレッキング・利神城山城登山
6月	苔テラリウム
7月	絵本づくり
12月	水引きでつくり正月飾り
2月	羊毛フェルトでつくるおひなさま



苔テラリウム

(3) 西播磨山城ガイド養成講座 委



西播磨山城プロジェクトも3年目を迎えました。3年目の目標は以下の3つです。

- ①ガイド講座修了後もグループごとに活動を継続していける仕組みを作る
- ②ガイドの実践
- ③地域に根付いた活動

それぞれの目標を達成するための講義を開催しました。最終年度の目標は「グループの自立」です。ガイドグループ(団体)を設立し、いかにメンバーのモチベーションを保つか、適度のガイド予約を受注するかを目標に事業に取り組みました。

「地域に根付いた活動」を実践するため、新しい試みで「子ども山城ガイド講座」を実施しました。紙粘土を使って山城を作り、その形状を体で覚えること、中世山城時代の武将がどんな食べ物を食べていたかを再現する「山城クッキング教室」など、子どもたちの興味をそそる企画をしました。家族で参加された方も多く、意外に美味しい当時の食事にみなで舌鼓を打ちました。

それぞれの山城にガイドグループを立ち上げ、山城リーダー会議も行うなど、連携体制を強化しました。山城のガイドでは、事故を想定して必ず2名体制でガイドをすることが基本です。「ボランティアガイド」とは言い、継続した活動をするためにガイド料の設定や、役割の分担など、何度もやりとりをし、それぞれのガイドグループで規約を作りました。この活動は来年度以降「西播磨山城ガイド協会」を設立し、継続する予定です。



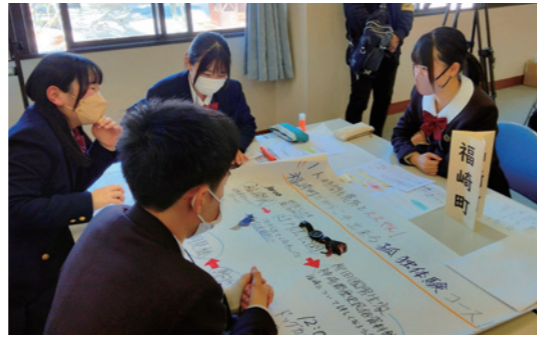
山城クッキング 兵糧飯作り

(4) 銀の馬車道・鉱石の道 高校生ワークショップ2022 委

日本遺産「播但貫く、銀の馬車道・鉱石の道」の若者たちへの知名度や愛着を高めること、将来的に地域を担う人材を育成すること、沿線の高校生のネットワーク化を図り、地域活動の活性化の一端を担うことを目的に実施しました。

沿線市町に通う高校生で、過去最高の36名が参加。11月から3月にかけての土日を中心に、5回のワークショップを実施し、グループで銀の馬車道・鉱石の道を周遊する観光コースづくりを作り上げました。地域にはどんな資源があり、隠された魅力スポットはないかなど、高校生ならではの視点を取り入れ、地域別に全5コースが完成しました。

ワークショップには地域で活動するボランティアガイドなども参加していただくなどし、地域の世代間交流の一助となりました。



03 情報提供事業

(1) 週替わりアンテナショップ電博堂の運営 自

アンテナショップの認知度も高まり稼働率が84.6%と非常に高くなっています。大半が物販利用です。起業プラザひょうご姫路を運営していることもあり、ぜひ「チャレンジショップ」としても利用して欲しいと、予約は半年前からの受注としました。定期的な利用により、ここから商店街へ出店する人が増えて欲しいと願います。



場所: 姫路御幸通商店街(姫路市綿町104)
面積: 約4.5坪
利用料: 1週間(木~火) 33,000円(税込)

04 調査研究事業

(1) 観光庁看板商品創出事業「低速自動運転ロボットを使った移動弱者のための『姫路まちなみ観光促進事業』」

昨年来より自動運転ロボットの可能性を調査研究する「姫路ウォーカーズ協議会」の事務局を担っています。

私たちは日ごろの活動から、姫路城に訪れる10人に1人は、高齢者や障がいのために登城できない現状を課題だと感じており、この自動運転ロボットを活用すれば、多くの人々が姫路城の歴史を知ることができるのではないかと考えました。そこで、郷土史家、観光ボランティアガイドなど地元で活動する団体のアドバイスを受けて5コースを造成し、「自動運転ロボットで巡る姫路城」として実証実験を行いました。

反響はかなりあり、多くのメディアに取り上げられたほか、海外からの問い合わせもあるなどのニーズの多さを感じました。ただし課題も多く、自動運転ロボットの台数が限られているため希望する方々に自由に乗りいただくことは難しく、2人乗り用のロボットは道路交通法の許可が下りないなど、まだまだ発展途上です。



実施期間 1月12日(木)~15日(日)、1月26日(木)~29日(日)の全8日間 内2日は降雪のため中止
参加者 54名

05 普及啓発事業

(1) 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」サイクルトレイン 委

「銀の馬車道サイクルトレイン事業」は、姫路港から生野銀山までを、サイクルトレイン(自転車をそのまま載せて輸送する貸し切りの臨時列車)とサイクリングで往復するイベント。銀の馬車道・鉱石の道推進協議会が主催し、当法人がお手伝いしています。

3両編成の列車の定員は45名。今年も早々に予約は満席となりました。

飾磨港を出発し、香呂駅で電車に乗り込み、生野駅まで。生野駅からは、銀の馬車道沿線を自転車で南へ下り姫路城まで。今年から生野駅から神河町までは、播但線沿いを走行するコースに変更。起伏の少ない道なので、初心者にもよりハードルが低くなりました。旅の途中では、沿線市町の首長をはじめ皆さまのおもてなしを受け、参加者も大満足でした。



(2) 銀の馬車道グルメで魅力アップ事業 委

銀の馬車道沿線では、白皮かぼちゃを鉱石に見立てて、グルメで沿線グルメを盛り上げる取り組みを4年前から実施しています。昨年度に引き続き、今年は、沿線レストランでかぼちゃメニューを提供したり、スタンプラリーをしたりと沿線でグルメを楽しんでもらう企画を多数実施しました。情報はほとんどがインスタグラムを活用して発信。情報の拡散を図るためにフォトコンテストも実施し、特に若い世代への発信に注力しました。

●沿線市町のレストランでのメニュー提供

朝来市から姫路市までの銀の馬車道沿線エリアにあるレストラン・菓子店を中心に、過去最多となる26店舗を選定。半数は昨年度からの継続参加店舗で、今年度は新たに13店舗が参加となった。

実施期間 2022年11月1日(火)~2023年1月31日(火)

参加店舗 26店舗



●かぼちゃのレシピコンテスト

銀馬車かぼちゃを通じて、若い世代にも銀の馬車道を知って頂きたいと、「小中高生のかぼちゃのレシピコンテスト」を実施しました。イラストの応募とすることで、小学校低学年でも応募しやすいように工夫。応募総数は29件であった。

特にすぐれていた5点を実現化したいと、姫路市にある「若葉福祉作業所」に全面協力を頂き、忠実に再現。1日10食限定で提供いただいた。このイベントに関しては読売新聞、神戸新聞、産経新聞にも大きく掲載された。



●ハロウィンイベント

NPO法人棚田LOVER'S(代表/永菅裕一さん)が毎年開催するイベントにブース出店し、銀馬車がぼちやをPRした。来場者数は約300人。ブース内では銀の馬車道・鉱石の道のパネル展示を行い、銀馬車がぼちやの周知に努めました。会場では、親子でかぼちゃのランタンづくりや、かぼちゃスイーツの販売などを行った。特に「小中高生のかぼちゃのレシピコンテスト」で入賞した香寺高等学校のスイーツは人気を博し、午前中で完売するほどの人気でした。



イベント名 「棚田ラバーズフェス2022」

開催日時 令和4年10月23日(日)

場所 リフレッシュパーク市川近くの棚田

06 職業紹介事業

(1) 生きがいごととサポートセンター姫路 新 委 の開設

3年間のコロナ禍で仕事への取り組み方が急速に変わりました。在宅勤務やオンライン会議の導入により、企業側も副業やショートワークを推奨するようになりました。自分の時間をどう有効に使うか——。生きがいごととサポートセンターは、ボランティア団体の設立や運営のノウハウを、セミナーや交流会を通じて学んでいただく場所です。

このセンターは兵庫県がコミュニティビジネス支援で取り組んでおり、県下に4センター設置されています。地域活動団体の継続運営を経営面からサポートするのは、他県には見られないもので、兵庫県ならではの施策であると言えます。

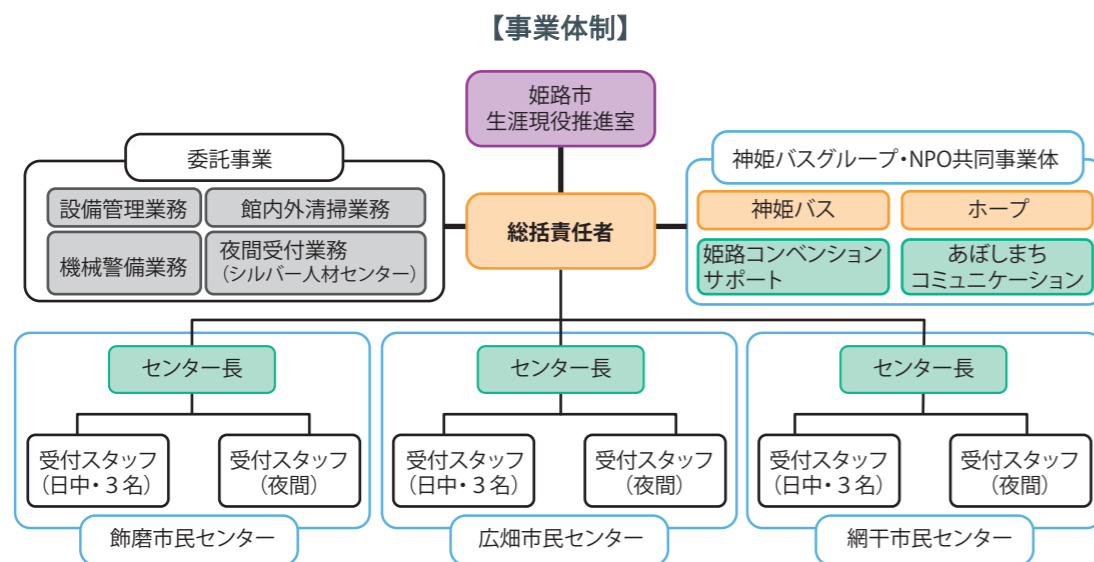
07 公共施設の運営、指定管理者業務に関する事業

(1) 公共施設指定管理業務 委

神姫バスグループと共同事業体を組み、飾磨・広畑・西・東・灘の5館の運営をしています。

市民センターの利用者は比較的高齢の方が多く、コロナ禍で使用を控えられるケースが目立っています。3年間のコロナ禍で生徒数が減少、教養講座の閉講が相次ぎました。先生方の高齢化も進んでおり、今後の講座の内容が問われています。

ただ、ようやく講座発表会も実施されるようになりました。自主講座の内容も精査しながら、地域に必要とされる館の運営をしたいと思えます。



08 起業支援、事業承継マッチング支援事業

(1) 起業プラザひょうご姫路の運営 委

起業5年未満の起業家や、これから起業しようとする人たちが入会し、セミナーやアドバイスなどのサポートを受けながら自立する拠点で、学生からシニアまで幅広い人材育成を目的として運営しています。

委託最終年度となる令和4年度は、連続セミナーを実施。起業って何?という「ふんわり層」の開拓から、起業後数年が経過し、補助金を獲得したいとなど明確なビジョンがある層まで、幅広いフェーズに応じたセミナーを実施しました。



●高校生のための起業セミナー 新 委

中播磨に住む高校生を対象に起業セミナーを実施しました。10名が参加しました。ビジネスプランの考え方、マネタイズ、商店街を題材とした企画案など、10回に渡る講座を開催し、最終回は審査員を招いてピッチコンテストを行いました。チーム別に3つのビジネスプランを披露。参加された姫路市長、商工会議所会頭など5名の審査員からも「新しい発想」などと意見が上がりました。

実施期間 / 8月28日～11月17日 全10回講座

参加者 / 中学2年～高校3年までに10名

主催 / 中播磨県民センター



●起業セミナー・個別相談会 新 委

移住者のための起業セミナーを開催しました。午前中は神河町や市川町など訪問し、自然の中の住まいや環境をチェック。午後からは起業プラザに移動し、各市町の施策を聞いたり、先輩起業家3名によるトークセッションを聞いたりし、実際に移住した場合のイメージを膨らませました。日本政策金融公庫からの融資の説明や個別相談会など、実現に向けた取り組みで参加者も満足いただけたようです。

実施日程 / 令和4年12月11日(日) 13時半から17時

場所 / Biz Space Himeji (姫路市本町128番地ダイネンビルII) 大会議室601号

参加者 / 21名(事前申込者:21名、当日参加者:5名、欠席者5名)

主催 / 中播磨県民センター

コラム

なぜいま“起業”なのか

コロナ禍でオンラインが進み副業が認められると、起業を考える人が増えてきました。この1～2年で起業の波は、低年齢化し、最近では中高生からの起業家育成にも注目が集まっています。人口流出が止まらない地方にとって、若者たちが起業し地域愛を醸成してくれること、住み続けてくれることが喫緊の課題で、その歯止めをかける手段の1つが“起業”であると期待しているのです

令和4年度活動計算書

自令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

(単位:円) 税抜き

科目		金額		
I 経常収入	事業 収入			
	コンベンション開催に関わること	5,691,797		
	人材育成に関わること	7,264,550		
	情報発信に関わること	1,166,000		
	調査研究に関わること	1,043,640		
	普及啓発に関わること	2,382,631		
	公共施設の運営、指定管理者業務に関わること	45,049,311		
	起業支援、事業承継マッチング支援に関わること	14,418,600	77,016,529	
	入会金収入	20,000		
	正会員会費収入	46,800	112,800	
	賛助会員会費収入	46,000		
	補助金収入	1,539,000		
	人材育成に関わること	416,300		
	職業紹介事業に関わること	6,886,950		
	調査研究に関わること	7,036,287	15,878,537	
	受取利息収入	236		
	雑 収 入	10,000		
経常収入 計		93,018,102		
II 経常費用	1. 事業費	事業 支出		
		コンベンション開催に関わること	3,118,389	
		人材育成に関わること	2,015,507	
		情報発信に関わること	708,530	
		調査研究に関わること	9,113,490	
		普及啓発に関わること	1,189,039	
		職業紹介事業に関わること	1,800,024	
		公共施設の運営、指定管理者業務に関わること	3,458,373	
		起業支援、事業承継マッチング支援に関わること	3,031,452	
		給料 手当(事業)	36,673,945	
		消耗品費(事業)	63,843	
		当期事業費 計	61,172,592	
	2. 管理費	研 修 費	18,183	
		給料 手当	13,571,063	
		法定福利費	4,212,720	
		福利厚生費	315,583	
		通 信 費	361,689	
		水道光熱費	218,292	
		旅費交通費	279,679	
		広告宣伝費	135,645	
		接待交際費	119,901	
		会 議 費	156,749	
		事務用消耗品費	87,296	
		地代 家賃	676,368	
		車両燃料費	115,786	
		保険料	111,840	
		租税 公課	884,164	
		諸 会 費	157,456	
		リース 料	350,400	
		支払手数料	115,930	
		管理 諸費	867,213	
		長期前払費用償却	48,120	
		減価償却費	243,100	
		雑 費	43,417	
		管理費 計	23,090,594	
		経常費用 計		84,263,186
		税引前当期正味財産増減額		8,754,916
		法人税等		2,112,700
		当期正味財産増減額		6,642,216
		前期繰越正味財産額		30,320,706
	次期繰越正味財産額		36,962,922	

令和5年度(第22期)事業計画書

01 法人体制について

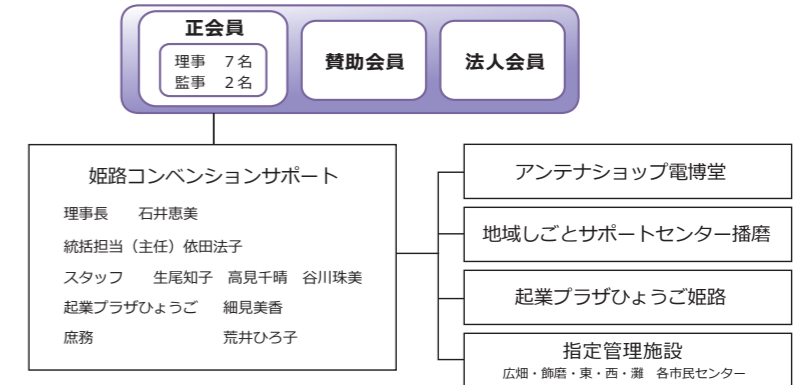
① 会員について

引き続き会員の増強に務め、会員の方へのセミナー参加への割引や会議室の利用サービスも設けます。

会員(正会員・賛助会員共) 3,600円(年会費)

法人会員 5,000円

② 組織について



02 令和5年度事業内容

起業プラザひょうご姫路、地域しごとサポートセンター播磨(旧 生きがいしごとサポートセンター播磨)の受託がきまり、2023(令和5)年度は「播磨の起業家支援のワンストップ窓口」となるよう、取り組みます。今や「起業」は法人設立だけに限ったことではありません。コミュニティビジネスから株式会社まで、様々な形で地域課題を解決したいと考える人をサポートするよう事業を推進します。

01 コンベンションの開催支援事業

コロナ禍で止まっていたイベントも再開しました。各種イベントの企画・運営を行います。

〈実施予定のイベント〉

(1) すこやかウォーク(主催 / 株式会社ゴダイ様)

(2) ヘルス&ビューティーフェスタ2023(主催 / 株式会社ゴダイ様)

02 人材育成事業

(1) 姫路城英語観光ガイド育成 **自** 新規

姫路に戻ってきた外国人観光客にガイドをする有資格者(全国通訳案内士)を育成する講座を実施する。

(2) 銀の馬車道・鉱石の道 高校生ワークショップ2022 **委**

昨年度に引き続き随意契約で実施します。

(3) 西播磨山城ガイド協会事務局 **自** 新規

昨年度まで3か年に渡って開催された山城ガイドグループの活動、運営サポートを行います。ガイドの予約受注窓口、秋冬にかけて西播磨山城イベントスタンプラリーを企画しています。

03 情報提供事業

アンテナショップ電博堂の運営 **自**

御幸通商店街にあるアンテナショップ。チャレンジショップとしても活用してもらうため、人材育成の観点も視野に入れた活動をします。起業プラザひょうご姫路での創業支援とも連携します。

アンテナショップ出店料
¥33,000
(1週間・税込)



詳細はこちらから▶

04 調査研究、政策提言事業

(1) 姫路ウォーカーカブル協議会の事務局(通年)

姫路で自動運転の実証実験を行う姫路ウォーカーカブル協議会の事務局を行います。

(2) 自動運転ロボットを使った観光ルートの開発

昨年度に引き続き自動運転ロボットを使った観光商品の開発。今年度は外国人観光客に向けたものを開発したいと考えています。

05 普及啓発事業

(1) 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」サイクルトレイン 委

飾磨から生野まで続く銀の馬車道を播但線と自転車で巡るツアー。今年は「ひょうごデスティネーションキャンペーン」に合わせて、9月に開催予定です。

日程 9月10日(日)

(2) 銀の馬車道グルメで魅力アップ事業 委

「白皮かぼちゃ」を使ったグルメで銀の馬車道を広くPRするプロジェクト。昨年に引き続き中播磨県民センターから受託を受けて実施します。

沿線各地のレストランでかぼちゃを使ったメニューを提供していただいたり、レシピコンテストを実施したりと、老若男女問わず楽しんでいただきたいと思います。

06 職業紹介事業

(1) 地域しごとサポートセンター播磨「レキップ」の運営 自

昨年度より受託している「生きがいしごとサポートセンター」は上記施設へと名称、役割と共に変更になりました。

「副業可」「時短」など、コロナ禍では多様な働き方が認められるようになりました。同時に、第二の人生を地域のために費やしたいという「生きがい」を求める方も多くなりました。地域や社会を取り巻く問題と向き合う「ソーシャルビジネス」は、自らのミッションを描き、活動を継続することが不可欠です。

地域しごとサポートセンターは、ソーシャルビジネスの設立から活動継続のための事業計画、また社会的企業で働きたいと思う方への職業紹介などを実施します。

07 公共施設の運営、指定管理者業務に関する事業

(1) 公共施設指定管理業務 委

2020年から5か年にわたる運営は、神姫バス株式会社、株式会社神姫トラストホープ、NPO法人あほしまちコミュニケーションズと提携しています。広畑市民センター、飾磨市民センター、東市民センター、西市民センター、灘市民センターの5館の運営をします。

08 起業支援、事業承継マッチング支援事業

(1) 起業プラザひょうご姫路の運営 委

今年度からまた3年間の事業委託が開始しました。3年間は、「姫路らしい」起業家育成、特にものづくりや観光に注力し、事業を進めていきます。

(2) 高校生起業セミナーの実施 委

中播磨在住・在校の高校生を対象に起業セミナーを実施します。「アイデアの創出」「価値の創造」をテーマにセミナーを実施。最終日は審査員を招いてピッチコンテストを行う予定です。

令和5年度 収支予算書

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

(単位:円) 税抜き

科目	2023(令和5)当初予算	2022(令和4)決算	増減
I 経常収入			
事業収入	71,000,000	77,016,529	△6,016,529
正会員会費収入	100,000	112,800	△12,800
補助金収入	6,500,000	15,878,537	△9,378,537
寄付金収入	50,000	0	50,000
受取利息収入	250	236	14
雑収入	10,000	10,000	0
経常収入計	77,660,250	93,018,102	△15,357,852
II 経常費用			
1. 事業費			
事業支出	10,000,000	24,424,804	△2,550,000
給料手当(事業)	44,000,000	36,673,945	24,000,000
消耗品費(事業)	100,000	63,843	△400,000
事業費①計	54,100,000	61,162,592	△550,000
2. 管理費			
研修費	30,000	18,183	0
給料手当	13,000,000	13,571,063	△840,000
法定福利費	4,800,000	4,212,720	300,000
福利厚生費	300,000	315,583	0
通信費	360,000	361,689	0
水道光熱費	200,000	218,292	0
旅費交通費	280,000	279,679	△20,000
広告宣伝費	250,000	135,645	114,355
接待交際費	120,000	119,910	90
会議費	150,000	156,749	△6,749
事務用消耗品費	60,000	87,296	△27,296
新聞図書費	0	0	0
修繕費	0	0	0
地代家賃	676,000	676,368	△386
車両燃料費	110,000	115,786	△5,786
保険料	111,000	111,840	△840
租税公課	884,000	884,164	△164
慶弔費	20,000	0	20,000
諸会費	157,000	157,456	△456
リース料	350,000	350,400	△400
支払手数料	115,000	115,930	△930
管理諸費	867,000	867,213	△213
長期前払費用償却	48,000	48,120	△120
減価償却費	243,100	243,100	0
雑費	43,000	43,417	△417
管理費②計	22,674,100	23,090,603	△416,503
支出合計①+②	76,774,100	84,253,195	△7,479,095
収支差額(税引前)	886,150		

NPO法人
姫路コンベンションサポート
ミッション

私たちは本気で「まち」を
おもしろくしたい人を
全力でサポートします

NPO法人
姫路コンベンションサポート
クレド(信条)

全力サポートするために「だれにでもモテる人になる!」

私たちは、相手の立場で考え、感謝の心で接し行動することで、地域の人にも仲間にも愛され、信頼される人になります。結果、様々な人たちとのネットワークができ、あらゆる情報を収集・共有していきます。

全力サポートするには「なにごとにも挑戦し続ける!」

私たちは、経験豊かで多様な個性を活かし、自律心と向上心を持って取り組みます。目の前にあるものをそれだけで終わらせず、+αし続けるところが姫路コンベンションサポートらしいサポートの形です。

全力サポートを目指して「とにかく仕事を楽しむ!」

私たちは、ともに同じ汗をかき、役立てることを喜び、笑顔で「人」に向き合います。私たちが仕事を楽しむことは、本気で「まち」をおもしろくしたい人を全力サポートする第一歩です。

NPO法人姫路コンベンションサポート コンプライアンス規程

行政から委託事業や補助金などの公的資金を受けるNPO法人として、透明な運営ができるよう、法令を遵守し健全な運営をします。

こちらからご覧ください。→



組織体制(五十音順)

理事	石井(玉田) 恵美…… NPO法人姫路コンベンションサポート理事長 御幸通商店街振興組合専務理事・大手前通り街づくり協議会副会長	
	石井裕之…… フリーランス、文筆家	
	岡本一…… 株式会社大陸代表取締役社員・大手前通り街づくり協議会会長	
	小川陽平…… 農業生産法人小川農園専務取締役	
	小川亮一…… 株式会社マルタ産業取締役会長	
	鎌谷正弘…… 株式会社カマタ二代表取締役社長	
	藤原正彦…… 株式会社藤原園代表取締役社長	
監事	赤西弘光…… 赤西登記測量事務所 原昇平…… 税理士法人信和総合会計事務所代表	顧問 佐賀とも子…… オフィスありがとう代表
スタッフ	阿部眞…… 西市民センター所長 網引一博…… 灘市民センター 荒井ひろ子…… 事務所・経理 川治陽子…… 飾磨市民センター 北野弘司…… 東市民センター所長 木下祐美子…… 起業プラザひょうご姫路 幸野七海…… 起業プラザひょうご姫路 小谷由紀…… 広畑市民センター 小西洋子…… 灘市民センター 真田夢子…… 起業プラザひょうご姫路 菅原真弓…… 広畑市民センター 瀬川玄悟…… 起業プラザひょうご姫路 谷川珠美…… 事務所・デザイナー 玉越久美子…… 西市民センター 徳弘真実…… 飾磨市民センター	原 理…… 東市民センター 原敏廣…… 広畑市民センター所長 東山喜美子…… 西市民センター 福田雅也子…… 起業プラザひょうご姫路 福本邦博…… 灘市民センター所長 船越敏之…… 灘市民センター 土師振一郎…… 灘市民センター 丸山由美子…… 西市民センター 三好真奈美…… 東市民センター 村留佳奈…… 起業プラザひょうご姫路 室田憲二…… 飾磨市民センター所長 元原純子…… 飾磨市民センター 吉田美紀…… 東市民センター 渡瀬郁子…… 広畑市民センター
NPO法人姫路コンベンションサポート 理事長 玉田(石井) 恵美 たまだえみ 1969年12月8日 兵庫県赤穂市生まれ 山口大学人文学部語学文学部卒業 大阪市立大学大学院創造都市研究科公共政策専攻修了 専門 NPO,社会的企業、観光、公共政策、ジェンダー 役員 姫路御幸通商店街専務理事 大手前通り街づくり協議会 副会長 受賞歴 平成19年度兵庫県男女共同参画褒賞 著書 我がまちの人情喜劇「銀の馬車道」～演劇が生んだ地域のつながり 神戸新聞総合出版センター 1,000円(税別)		地域ごとサポートセンター播磨 担当 依田法子 よだのりこ 1983年4月28日生まれ 兵庫県佐用町出身 川崎医療福祉大学医療技術部卒業 言語聴覚士 専門 公共施設マネジメント、合意形成 市民活動ボランティア支援、学生支援
		起業プラザひょうご姫路 担当 細見美香 ほそみみか 1975年7月17日 兵庫県上郡町生まれ キャリアコンサルタント 専門 起業家育成、人材育成
		生尾知子 なまおともこ 1978年12月26日生まれ 兵庫県たつの市出身
		高見千晴 たかみちはる 1974年2月13日生まれ 兵庫県上郡町在住



HISTORY

私たちの歴史

日本青年会議所全国大会姫路大会関連事業

8月1日
人情喜劇「銀の馬車道劇団」設立
10月31日
人情喜劇「銀の馬車道劇団」福崎公演（初演）

7月19日
銀の馬車道アンテナショップオープン
11月22日
「たまちゃん街の駅」オープン

4月1日～
姫路市広畑・飾磨市民センター指定管理受託

4月1日～
姫路市勤労市民会館指定管理受託
4月28日
ふるさと宍粟PR館「きてーな宍粟」オープン

5月11日
コワーキングスペース電博堂オープン

7月
ふるさと宍粟PR館「きてーな宍粟」
リニューアルオープン

8月
アンテナショップ電博堂オープン

我がまちの人情喜劇「銀の馬車道」
演劇が生んだ地域のつながり 出版

6月～3月
高校生による日本遺産魅力発見ワークショップ
7月29日
起業プラザひょうご姫路オープン
10月～3月
西播磨山城上質ガイド養成講座

7月～11月
高校生のための起業セミナー

特定非営利活動法人
姫路コンベンションサポート
姫路市南町76 城陽ビル2階
TEL 079-286-8988 FAX 079-286-9009
mail info@hcs.or.jp
web https://hcs.or.jp

2000

ひめじ良さ恋まつり実行委員会の立ち上げ

2002

7月8日
特定非営利活動法人（NPO法人）取得

2003

4月28日
御幸通商店街に電博堂オープン

2005

8月
外国人向け観光ガイドプロジェクトを開始

2006

9月
のじぎく兵庫国体関連事業

2007

11月10日
姫路城外国語ボランティア養成講座開催

2008

4月 姫路菓子博2008 関連イベント

2009

8月
福崎町制55周年
人情喜劇「柳田國男と河童」上演
11月 B-1グランプリin姫路関連イベント

2011

2012

3月31日 播磨国総社三ツ山大祭運営
4月～ 元町週末マルシェ事業

2013

2014

11月
姫路市南町76番地に事務所支店

2015

4月1日～
姫路市灘・西・東市民センター指定管理受託

2016

2017

2月
小泉武夫講演会（宍粟市）

2018

2019

8月～12月
日本遺産銀の馬車道鉱石の道 高校生フォーラム

2020

2021

10月
銀馬車かぼちゃグルメプロジェクト

2022

1月
自動運転ロボットを使った観光商品造成
3月
女子高校生SDGsサミット2023 in HIMEJI

2023